

横造協だよ

行 Vol.43 般社団法人横浜市造園協会 緑の諮問委員会

横浜市中区相生町6-104 横浜相生町ビル3階 TEL 045-662-9897 FAX 045-664-5633 http://www.yokohamashizoen.or.jp



でございます。 横浜市副市長の小林 日頃より横浜市造園協会 美

号が続けて日本列島を襲 15号、そして10月の台風19 誠にありがとうございます。 特に昨年は、9月の台風

> 御尽力いただき、改めて深 く感謝申し上げますととも 様には復旧作業等に迅速に 害を受けました。会員の皆 多数の倒木や土砂崩れの被 に心よりお見舞いを申し上 に、被害を受けられた方々 市内の公園・緑地でも

理解と御協力をいただき、

皆様には、横浜市政に御

横

年に山手公園が開設されて から令和の現在に至るま に先駆けて「公園愛護会制 行ってきました。昭和36 (1961) 年には、全国 横浜は明治3(1870) 先進的な緑の取組を を創設しました。現在 独自の制度により、貴重な 緑を守ってきました。 業専用地区」といった本市

横浜の市民力の力強さを感 愛護会が結成されるなど、 では市内の約9割の公園で また、「市民の森」や「農

る花や緑など、 る森、地産地消 地域の魅力とな を支える農地、 の憩いの場とな 横浜には、市民 の成果もあり、 大都市でありな これらの取組 かに彩られました。

緑の創出などの取組を継承 で華やぐガーデンシティ横 た樹林地の保全や地域での もとに、これまで進めてき [2019-2023]」を 一画として始まった、新た 「横浜みどりアップ計画

国際園芸博覧会は、国際

に開催される博覧会です。

だいております。

の輪がますます広がります。



みどりアップ計画」 の一部に活用した、 しています。

園をはじめとした都心臨海 ご協力をいただき、「全国 な取組により、横浜が華や 皆様の花と緑に親しむ様々 そして市内18区での市民の 郊外部の「里山ガーデン」、 部の「みなとガーデン」、 ていただきました。山下公 魅力と素晴らしさを実感し を超えるお客様に花と緑の を開催し、実に600万人 都市緑化よこはまフェア_ プのもと、関係者の皆様の 林市長の強いリーダーシッ hの大花壇を中心とした さらに、2017年には、

2019年から3期目の

がら多様な緑が

多くあります。 身近な場所に数

こうした緑を次

度から「横浜み

域・経済の創造などを目的 花と緑あふれる暮らしや地 的な園芸・造園の振興及び

瀬谷通信施設において、

に米軍より返還された旧上

横浜市では、2015年

ため2009年

ティ横浜のリーディングプ デンネックレス横浜」を推 横浜市では、フェアの成

横浜

を推進 18区や民間の主催するイベ 山ガーデン」に加え、市内 なとエリア」と郊外部の「里 ントと連携することで、全 つながりを広げています。 域一体となって花と緑の

お楽しみいただきました。 る、横浜ならではの魅力を 共に、ネックレスのように 下公園や港の見える丘公園 催しました。、市の花バラ、 を主役にした様々なイベン つなげて楽しむことができ などの魅力的なガーデンと |横浜ローズウィーク」を開 ガーデンネックレス横浜 昨年は新たな取組として、

> の皆様に御協力いただきな などの多様な主体との連携 所有者、市民、企業、学校 引き続き横浜市造園協会

> > 内では1990年に大阪で

共に着実に成果を残し、

横浜の緑と国際園芸博覧会に繋げる

デンネックレス横浜の取組

横浜市副市長

小 林

美

浜を目指していきます。 ガ デンネッ

の取組は、

組です。都心臨海部の「み 横浜ならではの花と緑の取 クレスのようにつなげる、 イベント、そして人をネッ 史的な街並みや港の風景、

の御協力をいただき、連携 携やレストラン等の飲食店 庭園」と「こども植物園 らに充実させます。併せて、

市内の様々なイベントの連 のバラ園を再整備し、新た す。また「山手イタリア山 各所を、サクラ、チューリッ とエリア」を中心に、市内 2020」として、「みな めて感謝申し上げます。 登録制度」の第1回登録で、 など、ローズウィークをさ ニューアルオープンさせる なバラの見どころとしてリ の花々で色鮮やかに彩りま プ、ユリ、バラといった春 とお力添えの賜物です。改 園協会の皆様の高い技術力 だいているのも、横浜市造 全国に先駆けて登録されま 「ガーデンネックレス横浜 とができ、高い評価をいた 取組を継続的に進めるこ 4年目となる今年も、

お

の皆様が紡がれてきた高 技術力が国際園芸博覧会で これまで横浜市造園協会

取り組んでいきます。

した「ガーデンツーリズム ス横浜の取組 昨年、国が新設

ただくことが成功につなが の企業や団体のほか、多く する場となり、様々な分野 界最先端の技術や人が集結 環境への取組の発信や、世 日本が培ってきた先進的な る展示をするだけでなく、 の市民の皆様に関わって

わ りに 民や企業・団体の皆様

昨年開催されました「信

園では技術伝承研修会を関 揮いただき、出展花壇の人 の高い技術力を遺憾なく発 州花フェスタ2019」で た。また横浜公園の日本庭 気投票で第1位に輝きまれ いただき、その造園技術 横浜市造園協会の皆様 備を進めてまいりますの 花開くよう、しっかりと準

平成17年 総務局組織改 平成9年 昭和58年 調査等担当課長 総務局市長室 横浜市入庁

ネックレス横浜の取組は、 開催の申請を行い、承認を 9月には、横浜市として国 を賜りながら取組を進めて 業協会等の御支援、御協力 浜市造園協会の会員の皆様 開催された国際花と緑の博 際園芸家協会(AIPH)に います。おかげ様で、昨年 をはじめ、国、日本造園建設 (A1)の国際園芸博覧会の 先述のように、ガーデン ただくことができました。 国際園芸博覧会において 単に園芸や造園に関す まっていることを私自身も な主体との連携が必要です。 実感しています。そして国 緑にあふれる横浜の街づく にも、これまで以上に多様 除園芸博覧会の成功のため 、機運醸成を進めていきま 取組を今後さらに発展さ 一緑に親しむ機運が年々高 皆様をはじめ、企業や団 ガーデンネックレス横浜 横浜市造園協会の会員 市民の皆様と共に花と 国際園芸博覧会に向け



の伝承にも力を注いでいた 力を賜りますようお願い申 し上げます。 で、今後とも御支援・御協 平成30年 平成24年 政策局長 (略歴) 革推進部長 横浜市副市長

明けましておめで

進めています。人と花と時

ンネックレス横浜の取組を

い」といったお声をいただ

宝塚市と横浜市は、バラの に贈ってくださいました。 れたバラの苗木を、横浜市

を推進するリーディングプ 機に、ガーデンシティ横浜

足を運びますと「緑と一緒 んでいただき、私が会場に す。市民の皆様にも大変喜 にお越しいただいておりま 内外からたくさんのお客様

お花も楽しめてうれし

ジェクトとして、ガーデ

ご挨拶を頂戴し、

本当に心

れていく素敵な取組です。 を繋ぎ、温かい気持ちが流

横浜市は港が有名です

的にご協力を賜り、改めて 造園協会の皆様には、全面

緑やお花が大変似合う、

田澤会長様から大変力強い とうございます。ただ今、

第

場所だと、私は考えており まさに庭園都市になるべき

全国的にも有名となり、

催された「ばらフェスタ」

号に登録されました。皆 ツーリズム登録制度の第 おかげで、国からガーデ

した。大さん橋ホールで開

ローズウィークも大成功で

昨年、初開催となった

デンネックレスを続けてき

皆様のご協力を賜り、ガー

そして横浜市造園協会の

願いしたいと思います。

横浜市造園協会の皆様のお きました。ぜひこれからも

流が続いております。 花を通して本当に素敵な交

力添えを賜り、ご協力をお

ガーデンネックレスは、 く御礼申し上げます。

令和2年

新年賀詞

賀詞交歓会を開催した。

係団体の方々をお招きし、 会員を含め200人が参会 ご来賓として横浜市幹 国会・市会議員また関

支部連会長からご祝辞、小 長、坂井自由民主党横浜市 林副市長に乾杯のご発声を まり、林市長、横山市会議 田澤会長のあいさつに始



(一社)横浜市造園協会 田澤 重幸 一層の努力を

だきましてありがとうござ 多くの皆様にご参会をいた めでとうございます。 いたしまして、このように 本日は林市長をはじめと

令和として最初の一年が

皆様、

新年明けましてお

林市長ご祝辞

人と花と時をつなぐ

ガーデンネ

ました。そこで、平成27年

フェアが開催されたのを契 に、全国都市緑化よこはま

> 始まり、ご参会の方々には、 をお過ごしのこととお慶び 申し上げます 希望に満ちた輝かしい新春

式を迎えられますことお祝 は、三月に新市庁舎の落成 い申しあげます。 横浜市におかれまして

在 のIRの実現に向けて、現 また、2020年代後半 林市長自ら出向いて市

> 市長ご自身が18区を率先し 民説明会を行っています。 れまでにないことだと思っ ています。 て説明するということはこ

おります。 る姿に本当に感銘を受けて 標に向けてご尽力されてい 実現していく、そうした目 様に安全・安心の暮らしを わたり発展させ、 あって、この横浜を将来に ますます進展するなかに 人口減少・超高齢社会が 市民の皆

向けては是非ともご協力、 く所存です。 応援を可能な限り行ってい 私どもも、IRの実現に

催申請が承認されました。 バルに赴きその喜びを真直 ジャパンデイ・フェスティ 協会として2019北京国 浜市の国際園芸博覧会の開 際園芸博覧会で開催された (国際園芸博覧会) から横 昨年9月にはAIPH

に感じることが出来まし

りますがお礼申し上げま ますこと高い席からではあ に、ご尽力いただいており 土交通省の関係各局の方々 始めとして農林水産省や国 た。招致に向けて横浜市を 化を図り開催に向けてなお す。当協会といたしまして 層の努力を惜しまない所 花博招致特別委員会の強

挨拶とさせて頂きます。 念いたしまして、新年のご となりますよう、 ともに、本年がより良き年 ようお願い申し上げますと をしてまいります。皆様の が今以上、花と緑と造園力 よう、私共は誠心誠意努力 して協力し、横浜市内全体 き続き植物調達協議会を通 ス横浜」につきましても引 で人々に愛される街となる こ指導・ご鞭撻を賜ります また「ガーデンネックレ 心から祈

新市庁舎植樹式を開催

図るために実施される。

合同で巡視を行うこと

なる安全管理体制の強化を

贈した。





第35回工事安全パトロー 横浜市造園技術交流会



流会は、当協会と横浜市環 設置された。(平成9年度) 上を図ることを目的として 境創造局が相互の技術的向 目的 :横浜市造園技術交

様と共に手を携えて進めて 会に、必ずつながっていく 通信施設での国際園芸博覧 予定しております旧上瀬谷 きた取組は、2027年に

サイユのばら」にちなんだ

ラの花や宝塚市で生産さ

知られる宝塚市が、「ベル では、植木のまちとしても

ネックレスの開催に向け ます。そして春のガーデン 益々のご活躍を祈念いたし は、心から感謝を申し上げ、 本日は誠におめでとうござ 力をお願い申し上げます。 て、変わらぬご支援・ご協 横浜市造園協会の皆様に

> 新市庁舎落成を記念して寄 開催。ソメイヨシノ2本を 舎植樹式を水辺プラザにて 令和2年1月22日新市庁

願っている」とあいさつし が毎年咲き続けていくよう きく根を伸ばし、満開の桜 田澤会長は「この地で大



ルを実施



その交流事業の一環とし の状況を合同で点検し、 事の現場における安全管理 工事安全パトロールは、 主に環境創造局発注で

副市長からお礼の言葉を頂 会長にご祝辞を、また平原 由民主党横浜市支部連合 横山市会議長及び坂井自

問題点を把握し、的確に是

現場の安全管理状況、

正指導等の処置をとり、問

数ご参会を頂きお礼申し 市会議員・当協会会員の多 横浜市職員幹部・自民党

的としている。 ルアップに繋げることを目

互の安全管理に関するレベ

防止を図ると共に、官民相 題(災害等)の発生の未然

、トロール対象工事 こども植物園ほかるか

実施日時 :1月30日

設改良工事 ナ混合展示場ほか一部施 **所施設改修工事** よこはま動物園サバン

発注課:公園緑地整備課)

店社パトを月2回実施し ていた。その報告もわか りやすくまとめられてい

所図があり、分散してい 「安全掲示板」に施工か 内容等の情報が一目でわ る施工か所の場所や施工

所前に配置していた 担架になるベンチを事務 かるようになっていた

法面上に転落防止用の ネットが設置してあった

時間的制約に対応して、 クローラ型のクレーンを ぬかるむ現場に対応して 大きな時計を設置してい 採用していた

報共有事項:

工事、委託とも、転落事 故が増えているので、注 (環境創造局より)

と人との関わりに興味を持 の事を学び、最終的には緑

造園職として横浜市に

人庁しました。

様々な実習を通して木や森

林をフィールドとした 大学時代は、原生林や人

樹木に魅せられて

緑地保全推進課横浜市環境創造局みどりアップ推進部

担当係長 直

千葉県内の埋立て



にマツ、ツバキ、マテバシ 地内は樹木が少なく、芝生 地の団地で育ちました。団

体験は少なかったのですが、

林間学校や家族旅行で美し

のみで、自然の中で遊んだ

ツツジ等の植栽がある

次第に木や森のことを学び い自然に触れる機会があり、

たいと思い始めました。

ます。当時、造園職の先輩 民の森やハイキングコース、 察会などを開催しました。 ことを学びながら、春や秋 から樹木や草花、生き物の な自然に触れることができ がっており、円海山の豊か 横浜自然観察の森とつな した。金沢自然公園は、 植物観察会、冬の野鳥観

の作業を体験しました。 ろんこになって、しろかき、 があり、子供達と一緒にど 雑木林、松林等の他に水田 然公園には、桜山や梅林、 田植え、稲刈り等の田んぼ 持管理を担当したこども自 公園緑地事務所でした。維 次の職場は、(旧)西部

とができたのも驚きでし 後の樹林地の環境も大切 これら2か所の公園を含 いな水の流れだけでなく ホタルの生息には、き ゲンジボタルを見るこ 横浜には谷戸が多くあ

普及啓発の業務を担当しま

であることを知りました。

沢自然公園では、

動植物の

入庁して最初の職場の金

横浜で出会った緑

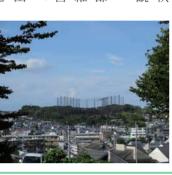
2 計画の取組横浜みどりアップ

(第 38 回)

まちづくり」や、園庭・校 をいただきながら、 **園業の皆様からアイディア** りましたが、経験豊富な造 は規模や条件が様々に異な り組みました。緑化の現場 備、公共施設の緑化等に取 庭の芝生化、ビオトープ整 が協働で進める「地域緑の 配属され、地域の皆様と市 経てみどりアップ推進課に て進めることができました。 その後、現職の緑地保全 その後、数か所の職場を 工夫し

切な経験であると思います。

地を、特別緑地保全地区、 市民の森、緑地保存地区な 市内に残された貴重な樹林 取り組みを行っています。 推進課で、樹林地の保全の しています。 様々な制度により保全



3 横浜の緑を次世代 に伝えるために

と思ったのは、娘が「緑が マジャクシの観察や、 の一つで、園児たちはオタ 森と水辺は、お散歩コース 通っていた保育園の近くの てくれたことです。娘が 豊かな横浜が好き」と言っ 今の仕事をして良かった

> が多く残っていますが、子 の発見を楽しんでいまし れられることは、本当に大 どもの時に身近な自然に触 な場所に樹林地や農地など ています。横浜には、身近 り安全に親しめる森となっ 森となり、園路の整備や樹 た。その森は現在、市民の 地の手入れが行われ、よ

は、 崩れなどの被害がありまし 樹林地や公園で倒木や土砂 害が発生し、市内の多くの に勢力の強い台風による災 後の復旧作業にご尽力い 一方で、昨年の秋は非常 台風時の緊急対応とそ 市内の造園業の皆様に

> ろです。 るとともに、改めて維持管 理の重要性を痛感したとこ ただき心より感謝申し上げ

取り組んでいきたいと思い 樹林地の育成や安全管理に のお力をいただきながら、 に残すため、造園業の皆様 願いいたします。 ます。今後ともよろしくお 豊かな横浜の緑を次世代



経営者研修会を開催

ガーデンツーリズム登録 全国都市緑化よこはま フェアのレガシー

制度 ガーデンネックレス横浜

2027年国際園芸博覧 会の概要

北京国際園芸博覧会

の協会理事長 上原啓史氏 (公財) 横浜市緑 そのレガシーをガーデン けての意気込みを、会員同 く話もあり、とても興味深 化よこはまフェア開催や、 開催した第3回全国都市緑 なった。また2017年に だ経緯などの中に初めて聞 ネックレス横浜に引き継い 士が確認しあう講演会と

rarden Necklace:

第 37

当協会は横浜市からの協

~11月23日 (月・祝)

利用し、思わず

に、立体花壇を

写真を撮り、S

を演出するため

PRした花壇 クレス横浜」を

用いて自由に表現した庭 各自治体の特性を花や緑を

1 区 画 20 ²

トスポット花壇

養となる。フォ

を演出する。

サービス㈱岸田真太郎氏の たサカタのタネ グリーン 公募し最優秀賞に選ばれ

る壁面花壇中心

また、彩のあ





みなとエリア

2020

が開催

《期間》3月28日(土)



6月7日 (日)

る丘公園・日本大通り・横 《場所》山下公園・港の見え 浜公園・新港中央広場など

(里山ガーデンフェスタ)里山ガーデン

定~5月10日 (日) (期間) 4月13日 (月) 予

町1425-4 (よこはま 動物園ズーラシア隣接) 《場所》横浜市旭区上白根

回全国都市緑化 ろしまフェアが開催

コンセプト

のわ」を配置し、開催テー ンボルマークである「はな めて、ひろしまフェアのシ に「平和のわ」の思いを込

マである「花笑(はなえみ)」

分依頼を受け今回も花壇を

た 花と緑いっぱいの横浜

を表現する。

国際園芸博覧会に向け

ガーデンネッ

ひろしまはなのわ2020

花壇出展期間は5月2日 ・2020年3月19日(木) (日) まで。

出展テーマ

あり、『心の栄 くなる、迫力が NSで拡散した

出展規模

作品が展示される。 会員から花壇デザインを

博に紡ぐ をガーデンネックレス~花 こはまフェア」のレガシー 「全国都市緑化よ

講師

開催日 会場 熱海 聚楽ホテル 11 月 8 日

参加者

講演内容 第3回全国都市緑化よこ はまフェアの概要

く感じられた。

よこはま花 フェア2020[花壇展]開催 一緑のスプリング

よこはま花と緑のスプリン 当協会が協賛している、

4月10日~5月6日

21区画(当協会員20·横浜

ガーデンネ 農業協同組合1区画) レス横浜

山下公園

監督員、指定管理者と連

計画や工程計画を提案し、 絡を密に取り、適切な仮設

上を図り、公共工事の適正 工者の施工技術や意欲の向 により、工事の品質及び施 任者を市長が表彰すること 特に優れた施工をした請負 (施工会社)及び現場責

横浜市が発注した工事を **上事施工会社表彰** る。昭和55年度の創設以来 会 場 今回で40回の節目を迎え することを目的としてい な施工や品質の向上に寄与 表彰日 ワークピア横浜 11 月 5 日

火

④ コメント

⑤現場代理人



③監督部署 ②代表工事 ①受賞者

処理や仕上がりも丁寧で、 来ばえでした。 かりやすく、申し分ない出 特に安全講習を丁寧に行っ 成果品簿冊のまとめ方もわ 対策も十分でした。端部の ていただき、周囲への安全

①株新正園

⑤小林満美子



設改良工事

②芹が谷五丁目特別緑地保

トサイド公園の施設改良工

③環境創造局公園緑地整備

④現場の制約条件の中、 優

全地区整備工事

とめについても工夫が多 れた提案をいただき、かつ、 く、優れたものでした。 ちょくしていただきました。 地域住民との調整を積極的 に行うなど、円滑に工事を進 また、竣工図書の取りま

①相武造園土木㈱



②せきれいのみち一部施設

公園施設安全管理研修

公園緑地管理研修会を開催

横浜市造園技術交流会

滑な施工を行いました。 特徴です。施工にあたって のみち」の一部施設改良工 ④本工事は緑道「せきれい 地域の協力を得ることで円 する取組を自発的に行い、 動など、地域や環境に貢献 受入れやリサイクル推進活 高い技術力を発揮しました。 施工方法を提案するなど、 は、こうした意匠を活かす 自然素材を多用した園路が 事です。緑道は石材などの ③都筑区都筑土木事務所 また、中学生の職業体験

①株田澤園

③環境創造局公園緑地整備 ②本牧市民公園一 一部再整備

講師

ントや、 学ぶ。

《公園施設関係》

実施日 実施場所

11 月 21 日

講義·北部公園緑地事務所 現場見学・こども自然公園

横浜市造園協会

樹木診断関係》

用できる空間を維持する 公園利用者が、安全に利

· 横浜市造園協会員

29 名 7 名

樹林地管理研修開催

6月2日に開催した講義

1 月 21 日

④本工事は、 海横浜友好園の外構及び園 ボードひろばを新設し、上 の駐車場の一部にスケート 本牧市民公園 ⑤岩下光彦

のです。

ました。

活かして工期内に良好な仕 上がりで完成していただき い、優れた知識・経験を

路や設備の改良を行ったも

優良工事現場責任者表

ドひろば各施設の提案を利 動線の検討やスケートボー とともに、駐車場内の車両 なか、積極的に調整を行う やイベント等で制約の多い 用者目線で細部に至るまで 建築や電気工事との競合

株 新 正 園 切

知宏

株田澤園 光彦



機 小林 園 港 満美子







相武造園土木㈱ **片倉 究**

株 春 峰 園 田

宏

郎



新 、 会 員

所在地 代表者 会社名 FAX 711-7397 T E L 262-9197 西区霞ヶ丘61-3 株鈴木緑 化園 鈴木敏之

若手社員活躍推進出前

女性活躍推進部会長 酒井一江氏



長澤利教樹木医 昨年開催した「最初が肝

造園領域発展戦略副委員長

園の仕事」をテーマに講座 まえ、「出会いが大切!造 加者から頂いたご意見をふ 心!造園の仕事を知ろう」 に続き、今年度は前回の参

(一社)日本造園建設業協会

横浜市研修センター 22 名

神奈川県支部 入社10年目程度までの若手 【会場】ホテル横浜ガーデン 【後援】横浜市環境創造局 其催] (一社)日本造園建設業協会 【対象者】 【開催日時】11月20日(水)

第二部 第一部 若手社員38名、経営者16 【参加者】 社員 (年齢、男女不問) 【講義内容】 今回の講座は、官・民芸 グループディ カッション

流する事は中々難しいが、 ディスカッションを行っ 手社員ミックスのグループ 造園業務を介して、それぞ た。普段業務においてはな

な講座となった。 れの立場で現状の色々な悩 互理解が図れた大変有意義 ざっくばらんに討議し、相 みや考えていることなどを

向きな反響を頂いた。 直接伺えたのはとても参考 だき、若手の方々のお話を 職員として参加させていた 意義な機会でした」「市の が増しているので、大変有 いても、公民連携の必要性 でした」「公園の分野にお たことは、非常に良い経験 えてディスカッションでき になりました」等非常に前 参加者からは「官民を交

う、スパイラルアップさせ の役立つツールとなるよ 業の底上げに本講座が一つ 今後も官民連携の造園事